



# 2019 年度小学校教員資格認定試験

## 教科及び教職に関する科目 (Ⅱ)

### 外国語

#### 注意事項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験運営大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 運営大学名、氏名、受験番号、受験科目を 2019 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。  
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。  
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。  
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) 
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) 

以下の問いにおいて「小学校学習指導要領」とは、「『小学校学習指導要領』(平成 29 年 3 月文部科学省告示)」を指し、「『小学校学習指導要領解説』とは、「文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 外国語活動・外国語編』(平成 29 年 7 月)」を指すものとする。

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第 1 部 外国語活動 第 1 章 総説 2 中学年の外国語活動の導入の趣旨と要点」に述べられている内容である。□ 1 □ ~ □ 4 □ に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

④ 学習指導

中学年の外国語活動の「英語」における指導計画の作成と内容の取扱いについては、次のように設定した。

- ・言語活動で扱う題材については、我が国の文化や、外国語の背景にある文化に対する □ 1 □ を高め、理解を深めようとする □ 2 □ を養うのに役立つものとした。
- ・外国語を初めて学習することに配慮し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達との □ 3 □ を大切にした □ 4 □ な言語活動を行うこととした。

| □ 1 □ | □ 2 □ | □ 3 □ | □ 4 □ |
|-------|-------|-------|-------|
| ア 関 心 | 素 地   | 信 頼   | 体験的   |
| イ 関 心 | 態 度   | 関わり   | 体験的   |
| ウ 興 味 | 素 地   | 関わり   | 対話的   |
| エ 興 味 | 態 度   | 信 頼   | 対話的   |

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 4 章 外国語活動 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標」の「(2)話すこと[やり取り]」に示されている目標として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようになる。
- イ 自分ことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
- ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようになる。
- エ 自分や友達のことについて、人前で実物などを見せながら、高度な語句や表現を用いて話すようになる。

問 3 『小学校学習指導要領解説』の「第1部 外国語活動 第2章 外国語活動の目標及び内容 第2節 英語 2 内容」の〔第3学年及び第4学年〕〔知識及び技能〕において、「(1) 英語の特徴等に関する事項」として「イ (ア) 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。」のための活動例が述べられている。この活動例として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 英語の歌を歌うことを通して、日本語と英語の音声面等の違いに気付かせる活動。
- イ 英語のチャンツを通して、日本語と英語の音節の違い(ミルクと milk など)に気付き、英語のリズムやイントネーションを体得する活動。
- ウ 英語と日本語の語順の違いを学ぶことを通して、文構造の違いに気付き、正確に話したり聞き取ったりする活動。
- エ 日本語に存在しない/f/のような音を含む単語(fox など)を聞き、違いに慣れ親しむ活動。

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第1部 外国語活動 第2章 外国語活動の目標及び内容 第2節 英語 2 内容」の〔第3学年及び第4学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕では、「(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ②言語の働きに関する事項」において「ア 言語の使用場面の例」が示されている。以下の会話は、「ア 児童の身近な暮らしに関わる場面」で示されているものである。最も適切な場面を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A: Do you have a ruler?

B: Yes, I do. I have a ruler. / No, I don't. I don't have a ruler.

- ア 学校での学習や活動
- イ 家庭での生活
- ウ 子供の遊び
- エ 地域の行事

問 5 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第4章 外国語活動 第2 各言語の目標及び内容等 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い」における「(2) 2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。」の「エ」に述べられている内容である。□□□□に当てはまるものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

身近で簡単な事柄について、友達に質問をしたり質問に答えたりする力を育成するため、ペア・ワーク、グループ・ワークなどの学習形態について適宜工夫すること。その際、相手とコミュニケーションを行うことに課題がある児童については、□□□□。

- ア 個々の児童の英語熟達度に応じて指導内容や指導方法を工夫すること
- イ 個々の児童の特性に応じて個別学習や一斉授業を用いること
- ウ 個々の児童の特性に応じて指導内容や指導方法を工夫すること
- エ ペアやグループに対して指導内容や指導方法を工夫すること

問 6 次の文は「小学校学習指導要領」の「第2章 各教科 第10節 外国語 第1 目標」の(2)に示されているものである。□1□と□2□に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を□1□しながら読んだり、□2□を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

- |      |     |
|------|-----|
| □1□  | □2□ |
| ア 応用 | 句読法 |
| イ 応用 | 語順  |
| ウ 推測 | 句読法 |
| エ 推測 | 語順  |

問 7 次の事項は「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容」の〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔知識及び技能〕の〔(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声〕の(イ)に示されているものである。□ に当てはまる語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

語と語の □ による音の変化

ア 合成      イ 反復      ウ 並列      エ 連結

問 8 次の事項は「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容」の〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔知識及び技能〕の〔(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語、連語及び慣用表現〕の(ア)に示されているものである。□ に当てはまる語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

1 に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる、第 3 学年及び第 4 学年において第 4 章外国語活動を履修する際に取り扱った語を含む □ 語程度の語

ア 300～400      イ 600～700  
ウ 900～1,000      エ 1,200～1,300

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 部 外国語 第 2 章 外国語科の目標及び内容 第 2 節 英語 2 内容」の〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕において、〔(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項〕が述べられている。その具体的な説明として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「思考力、判断力、表現力等」を高めていくため、外国語教育における学習過程では、児童が、設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解することが大切である。

イ 「思考力、判断力、表現力等」を高めていくため、外国語教育における学習過程では、児童が、目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てることが大切である。

ウ 小学校の外国語科では、身近なことに関する基本的な表現によって各領域の言語活動を行うこととしている。

エ 小学校の外国語科では、中学校で学ぶ内容を前倒しして取り入れることで、既得の知識や経験と、新たに得られた知識を言語活動へつなげることとしている。

問10 次のア～エの文は「小学校学習指導要領」の「第2章 各教科 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容」の〔第5学年及び第6学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕の〔3〕言語活動及び言語の働きに関する事項 イ 読むこと〕について述べたものである。適切でないものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。
- イ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。
- ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。
- エ 筆記体で書かれた文字を見て、その読み方を適切に発音したり、活字体で書かれた文字などと結び付けて識別する活動。

問11 次の会話文中の  に当てはまる最も適切な語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A: Our bus seems to be late.

B: Let's get a taxi. We should arrive  time.

- ア after
- イ at
- ウ in
- エ over

問12 次の会話文中の  に当てはまる最も適切な語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A:  recommend a good restaurant around here?

B: There's a good one just over there.

- ア Are you
- イ Can you
- ウ Do you
- エ Have you

問13 次の会話文中の  に当てはまる最も適切な語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A: How have increasing food prices changed your eating  ?

B: We've switched to cheaper foods.

- ア citizens
- イ habits
- ウ industries
- エ values

問14 次の会話文中の  に当てはまる最も適切な語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A: How long are you going to be here?

B: Uh... not too long, uh,  until Monday.

- ア just
- イ right
- ウ so
- エ yet

次の英文は、東京にある地下鉄の駅でルイスとユキが行った会話である。この英文を読み、問15～問17に答えなさい。

Johannsen, K. L., & Chase, R. T. (2010)  
『World English 3』

承諾を得ておらず不掲載

問15 Which of the following is the best for  ?

- ア Could you say that again?
- イ I'm sorry.
- ウ No, I don't.
- エ Yes, a little.

問16 Which of the following is the best for  ?

- ア So you need to pay 500 yen for both of us.
- イ This is my present for you.
- ウ You don't have enough money.
- エ You put your money in here and push this button.

問17 Which of the following is the best for  ?

- ア the train ride will not be boring
- イ there are the seats on the train already
- ウ you'll see a sign that says Tozai Line
- エ you'll see the station entrance



次の英文は、あるイギリスの新聞に掲載された記事である。この英文を読み、問 18～問 20 に答えなさい。

First Group Enterprises Ltd.  
『First News』2017年8月25日～31日掲載号

承諾を得ておらず不掲載

問18 Which of the following titles would be most appropriate for this article?

- ア Debates at the UN
- イ Robot Wars
- ウ Robots' Rights
- エ Robots Will Improve Wars

問19 According to the article, which of the following statements is true?

- ア Over a hundred company directors held a debate at the UN about using robots in battles.
- イ Over a hundred heads of companies wrote a joint letter to the UN about using robots in wars.
- ウ Representatives of hi-tech companies claimed that using machines in wars should be banned.
- エ The hi-tech business leader Elon Musk gave a speech at the UN against using robots in wars.

問20 According to the article, what is one major problem with using robots in wars?

- ア In recent years, artificial intelligence has become more sophisticated and lethal than before.
- イ It can be difficult to decide whose fault it is when non-military people are killed.
- ウ The companies that build the robots are trying to imitate the wars in sci-fi movies.
- エ There are no robots which can decide by themselves what to target and attack.